



—コロナ下での2度目の夏—
私の決意、わたしの誓い

ちょうど1年前の2020年8月1日。
 新型コロナウイルスの混乱のなか、県内の多くの小中学校で短い夏休みがスタートしました。
 そして迎えた2度目の夏。ワクチン接種は進みつつあるものの、収束の兆しはまだ見えていません。
 ここに集まったたくさんのメッセージ。
 医療従事者の方々や、社会を支える多くの人々へのエール、
 コロナに立ち向かう決意が込められています。
 わたしたちにできることを見つめ直すきっかけになれば、と願います。
 さような行動が、あしたの笑顔につながるかと信じて。



私たちは感染症予防の王道を歩みます。 群馬県医師会会長 須藤英仁

感染症予防に近道はありません。
 どれが欠けても感染症はまん延します。
 われわれ医療従事者はまじめに地道に
 県民の皆さんとともに終息に向けて
 努力してまいります。
 応援ありがとうございます。

1. 感染者の早期診断、早期隔離、早期治療に努めます。
2. 感染予防には自分自身の手洗い、環境消毒を欠かしません。
3. 集団免疫確保のためのワクチン接種を行います。
4. 感染症に対する有効な治療法確立を目指します。
5. そして感染症以外の患者さんが安心して受診できる体制を確保します。



企画制作 上毛新聞社営業局